

# 丹沢ボラネット瓦版

2013年3月号 No.85

## 高校生が取り組む！丹沢山みち再生体験

NPO法人みろく山の会 鈴木 茂

平成25年1月27日(日)。4回目の高校生再生体験を大倉尾根一本松ベンチ上部で、参加高5校、登山部高校生22名・先生9名の計31名でヌカミ対策の登山道整備活動に取り組みました。

14日の大雪による影響が心配されましたが活動場所は雪も少なく、天候にも恵まれて予定した再生体験活動ができました。



ヌカミ対策 処理前



ヌカミ対策 処理後

昨年11月、ヘリコプターで一本松上部から500m下がった所に岩礫500kgが荷揚げされ、当日の朝10kg程度の袋詰め小分けしました。前回、パワフルな高校生の岩礫荷揚げを見て、今回は高齢者による事前の荷揚げは取り止め。昨年よりも少ない人数で岩礫を入れた土嚢袋をそれぞれの方法で持ち、また用意した背負子で一本松のベンチまで運び、平坦な登山道は一輪車を利用して予定した通りの量が敷設場所まで届けられました。



重い岩礫の運搬



重いのは先生だけ？

岩礫敷設場所では初めて使うカケヤに戸惑いを見せていた高校生も、木杭を一本打ち込むごとに上手くなる適応力に年長者たちは感心して見守りました。岩礫敷設作業も含め 15m のヌカルミ対策の整備活動は 1 時間で終了。



初めてのカケヤ打ち



岩礫の敷設

作業後、高校生から『ありがとうございました』の言葉をかけられ、来年も高校生と高齢者が共同で丹沢の登山道整備活動が出来るよう準備を進めます。



活動終了後の記念撮影

## ユースンロッジの営業再開についてのお知らせ

北丹沢山岳センター 平野秀樹

NPO法人北丹沢山岳センターではロッジの再開を待ちわびる登山者の声を受け、神奈川県と協議を行い、平成25年4月からの営業再開に向け、定期的に維持管理の為、清掃、補修を実施してきました。

北丹沢山岳センターが、着々と準備をしているとの情報が登山者の間で知れわたり、多くの登山者から一日も早く営業を再開して欲しい旨の声が多く寄せられていました。

しかし残念ながら、神奈川県からの4月営業再開の許可がおりず、営業再開は出来なくなりました。

何故、営業再開の許可がおりないのか、今後神奈川県の担当者と協議しますが、なるべく早くの営業再開を目指し、登山者の期待に応えたいと思います。

いずれにしても、営業再開の目途がたちましたら、一日も早くご報告し、皆様のご期待に応えたいと思います。

## 平成25年度丹沢大山ボランティアネットワーク総会

日 時 平成25年4月13日（土） 13:15~14:30（12:30受付開始）  
場 所 自然環境保全センターレクチャールーム  
議 題 平成24年度事業・決算報告  
平成25年事業計画・予算（案）  
世話人の改選  
緑を育む集い実行委員会団体助成活動報告

丹沢ボラネット瓦版 2013年3月号(通巻85号)発行  
丹沢大山ボランティアネットワーク 世話人代表 杉山勉